

奥州市初予算決定

平成18年度

どう生かされるか初予算

534億

市長・教育委員長の
施政方針演述に対する質問
(抜粋)

質問 子育て環境ナンバーワンづくりの推進について、お伺いいたします。

市長 安心して子供を産み育てられ、子供が健やかに成長できる子育て環境づくりのため、まず母子・就学前・就学後及び、思春期の保健指導など、きめ細やかな各種保健事業を進めるとともに、地域子育て支援センター事業を柱として、保育料の第三子以降の無料化、特別保育事業や、放課後児童健全育成事業などの充実、そして病後児保育事業の拡充などにより、子育て家庭への支援を推進して参りました。



質問 教育施設、学校の耐震診断の完了予定についてお伺いいたします。

市長 教育施設、学校の耐震診断の完了予定についてお伺いいたします。

きましては、「安全・安心な学校づくり」の観点から、市内全ての学校校舎の耐震診断の完了に向けて努力をいたします。完了年度につきましては、教育委員会より答弁させていただきます。

教育長 国、県からの指導もございまして、本市といたしましても、全ての学校校舎の、耐震診断を十八年度中を目標に努めて参りたいと考えているところでございます。

質問 県競馬組合に職員の派遣について市長の副管理者としての見解をお伺いいたします。

市長 競馬事業の四分の一の責任を有している立場であり、県の方におねがいしてすむと言う問題でない訳でありますので、そういう意味におきましても、職員の派遣につきましては、情報の収集や伝達など、組織的にもこういった体制を、持った方がいいと副管理者間でも話題になっておりますので、大切な要素として受け止め検討して参りたいと思っております。

質問 全国的にも、東北、岩手県においても、子供をターゲットにした事件があつたと聞かれましたが、安全で安心な学校づくりについての考え方を、お伺いいたします。

教育委員長 昨今小さな子供を標的にした心ない事件が発生しており、社会的な問題としても取り上げられている状況にあります。本市におきましても、年々不審者に係る事案が増加してきている傾向にあり子供たちが安全・安心に登下校や、外で遊ぶことができるよう配慮することが求められているところであります。これまで、地域ぐるみの学校安全体制については、地区防犯協会や地区センターとの協力のもと、地域の力を結集させた事業の展開がなされ、不測の事案防止に効果が上がっております。本年度は、国の指定を受けた地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業を奥州市全域の幼稚園・小学校に展開し、地区防犯協会並びに地区センター、警察官OB、老人クラブ等に協力を求めながら地域の宝である子供たちの命を守るため、より充実した活動が展開されるよう努めて参ります。